



「人と関わる力を育む」

岡山市国公立園長会 会長

岡山市岡南認定こども園 園長 高原 智美

何回目かの異動の際、以前勤務した保育園に再度勤務することがありました。以前出会った子どもたちがちょうど小学校5・6年生から中学生になった時期で、うれしいことに学校行事で一緒になったり、保育園まで会いに来てくれたりして顔を合わせることができました。小学校に送り出した子どもたちに数年たって出会える機会は少なく、本当に幸せな巡り合わせだったと思います。保育園の頃の面影が残っている姿、自信をつけて堂々としている姿、今後の進路に思いを巡らせている姿など様々な成長を感じることができました。あの頃、自分は子どもたちの思いをしっかり受け止められていたのだろうか、寄り添うことができただろうかと振り返りながら子どもたちと交わした保育園の思い出話に保育者としての喜びと責任を感じたことを覚えています。

現在勤務しているこども園がある岡輝中学校区では、学校園が連携して0歳から15歳までの責任ある保育・教育に取り組んでいます。就学前の姿がどのように学校生活につながっていくかを知ることが、就学前に大切にすべきことは何かについて考える機会となり、以前の園で再び出会った子どもたちの成長した姿と重なることもあります。

その中で、自立に向かって成長する子どもたちのために園ができることは、子ども一人一人が自分の思いを伝えながら、まわりの人と関わる力を育むことではないかと思っています。0歳の子どもは何の迷いもなく、安心して大人に甘えています。その後、年齢が上がるに従って関心が大人から友達に広がり、関わり方を覚えていき、園を卒業する頃には自分達だけで相談したり、協力したりして遊ぶようになっていきます。もちろんそれは個々のペースで進むことであり、その過程で思いが伝わらないもどかしさを感じたり、時には喧嘩になったりと様々な葛藤を経験します。それを保育教諭が柔軟に受け止めることで「自分のことを分かってくれている」という安心感をもちます。そして、その安心感を基に自分の思いを仕草や表情、言葉で伝えることを経験し、まわりの人との関わりを広げていくのだと思います。

園内を見回すと、まだ言葉が十分に話せない子ども同士が顔を見合わせながら微笑み合ったり、自分の要求を一生懸命に先生に伝えたりしている、大きい学年の子どもたちがテラスに座って何やら内緒話をしている、困っていることを先生に聞いてもらっている、数人が集まって相談しながら遊びの約束を決めている…様々な姿を見かけます。「あのね」と自分の思いを伝え、「良かったね」「同じだね」「あつ、そうか」と共感や気付きを繰り返しながら、誰かと一緒だと安心する、楽しいと感じ、まわりの人と関わっていこうとする子どもたち。その関わりが学びを深め、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」につながり、さらに園を巣立った後の自立に向かった成長につながることを目指して、子どもたちの思いをしっかり受け止め、寄り添っていきたいと思います。

初任者研修講座【第10日】



「ICTの活用に向けて」

1人1台端末



を用いて体験的に
学びました!!



初任者研修は、教育に対する揺るぎない情熱、教育の専門家としての確かな力量、総合的な人間力をバランスよく養うことを目的として年間14日の校外における研修を実施しています。

ここでは令和5年度に実施した校外における研修のうち、「ICTの活用に向けて」について紹介します。



<講師>
Google for Education
上原 玲様



今までの授業は、教師主導。これからは、子どもが主体です。

「探究」がカギになります。問題を発見し、仲間と解決していく力を養う必要があります。

GoogleスライドやGoogle Jamboardなどは

意見の共有にとっても有効!

他の班の意見を参考にすることも簡単にできるな。自分の意見が言いにくい子も表現するきっかけになるんじゃないかな。

Googleフォームを使うと一瞬でたくさんの意見が集められるし、それをカラーのグラフで見ると簡単にもできるんだな。

視覚支援にもなるな。単元や本時の導入に使いそうだな～。



「その使い方いいね!やってみようから教えて!」…これが、Steal with Pride (良いものは頂く)だね!一人でやるよりみんなでいっしょにやる方がよくわかるし速いなあ。

意見にコメントすることも簡単にできる!自分の意見にフィードバックがあるのは、嬉しいなあ。自動で保存されるからいつでも見返すことができるのも便利だね。

子どもはChromebookをちゃんと使えるのかなあ…と心配が先行していたけれど、トライアンドエラーで、先生たちで足並みを揃えていっしょに悩んでやっていくことが大切なんじゃないかな。



講師から、演習とともに様々なアプリの使い方を体験的に学ぶことができました。協議を通して、授業や学級経営で生かせるアイデアがたくさん生まれていました。一つでも多く実践し、職員室等で実践を共有し、ICTの活用を進めていってほしいと思います。

授業中も

チャットで子どもから意見

をもらいながら進められたら、もっと手立てが見つかるかもしれないな。

教育課題別研究 研究協力校での公開授業の様子を紹介します！

「令和5年度教育課題別研究」では、ICTを効果的に活用した授業づくりを研究協力校である岡山中央小学校、岡山中央中学校と実践し、授業づくりにおける3つの視点をもとに、学校の教育目標（めざす子ども像）の実現を目指して研究を進めています。ここでは、その両校での公開授業の様子をお伝えします。

【授業づくりにおける3つの視点】

- ・ 各教科等の特質をもとに活用する
- ・ ICTを活用する利点を踏まえて活用する
- ・ 児童生徒の実態に応じた手立てとしてICTの活用を工夫する



岡山中央小学校

第5学年 外国語 「Where is the post office ?」 (Unit5)



案内する地図を、Jamboardで自分が作成することで、「案内したい」という思いを引き出し、活発なコミュニケーションとなりました。

授業のふりかえりをクラウドで共有されたスプレッドシートで行うことで、自分だけでなく、他の児童の記述や、過去の自分の記述を参照でき、次の学びにつながる好奇心を引き出すことができました。

岡山中央中学校

第1学年 保健体育 武道(剣道)



動画を撮影・保存することで、剣道を初めて学習する生徒たちが、「一本」になる条件と自らの技を照らし合わせて振り返ることができました。

動画を繰り返し確認できるようにすることで、課題解決の視点をもとに運動の取り組み方を試行錯誤することにつながりました。